

議会だより  そでがうら

市議会



No.206

1月臨時会・3月定例会

令和8年5月1日

発行：千葉県袖ヶ浦市議会

議会のひろば

特集

座談会

JAきみつ×市議会



Contents

- 座談会 みんなのひろば 2～3
- 令和8年度予算の概要 4～5
- 気になる事業 予算審査 6～7
- 議決結果、議案ピックアップ 8
- 研修会、所管事務調査 9
- 9人が市政を問う 一般質問 10～14
- 視察受入実績、市内小学生議場見学 15
- 袖ヶ浦のさんぽ道、6月定例会の予定 16

JAきみつ×市議会

JAきみつとは

食と農を基軸として地域に根ざしたJA

地域に愛される元気なJA

時代とともに進化し続けるJAを目指し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に取り組んでいます。総合事業の強みを生かした積極的な事業展開を通じて、「持続可能な農業・地域・事業・経営基盤の実現」に向けた不断の自己改革を継続的に進め、組合員・利用者に愛され、選ばれ続けるJAを目指しています。

参加者



袖ヶ浦市農畜産物直売所ゆりの里係長 松尾 直樹 袖ヶ浦市農畜産物直売所ゆりの里係長 藤野 優

経済部直売課課長 貝塚 慶太 常務理事 大古 政昭



直売所の運営について

● 最初の頃は、採れたてで新鮮だけど、見栄えや品質から言ったら評価が分かれるものが意外と多くて、売上げが1年半か2年くらい伸び悩んでいました。「どんどん良いものを出しましょうよ」と声掛けが始まってから変わってきました。今では市場に出るような品物が並んできてすごくありがたいです。

● リピーターさんがついてきて、生産者の名前を見ながらお買い求めいただいています。生産者それぞれがプライドを持って出荷できるようになって、そこも励みだと思えます。

● おかげさまで、現在では良い品物をたくさん並べていただいで

います。そこが一番大事なことだと思います。

出品者の状況について

● 新規で申し込まれる方の書類は確認していますが、出品をやめていく人の資料は上がってこないのので、総会の加入者数の数字だけで判断すると大きく下がってはいけません。開設から十何年経ちますので、年配の生産者の中には「もう限界」という方もいらっしゃると思いますが、その後に若い人が継いでくれると我々もすごく嬉しいです。若い人達がやる気にな



なって直売を選んでくれると励みになります。

● 直売だとお客様の反応もダイレクトに感じる事ができるので、そういうところは直売らし



イベントの様子

いメリットですね。

● 最初のうちは控えめに出品していた方が、胸を張ってどんどん出していく姿を見ると、すごく頼もしいですね。我々も応援しなくなりません。

● 生産者が出品するとき、一回店内に入って、周りの値段を見てから決めたりしています。その場で値段が決められるのがおもしろいですね。

お米の価格について

● 最近はお下がってきていますね。今一番問題を抱えているのは問屋さんです。一番高い時に買いますぎてしまつて倉庫に山になっていきます。冷蔵庫を持つていけば良いのですが、常温の倉庫だと管理が難しいです。

● 今年は、昨年ほどの金額にはならないと思います。令和7年度分も農協としては、契約が終わっているのに在庫はないのですが、まだ出荷できていない分や倉庫事情も絡んできたりするとその費用もだんだんと増えますので、今年もなかなか難しいかもしれないですね。

農作物の鳥獣被害について

● イノシシやハクビシンの被害で作物を食べなくても畑に入って荒らされてしまつて、サトイモやトウモロコシがやられてしまつたという話を聞いたことがあります。

● 出品者にも困っている人が増えて、被害の話をよく聞きます。

● 君津市では捕獲数が相当増えていて、実際どこに行つても見かけるようになってしまいました。一昨年あたりから電気柵の販売量がどんどん増えてきています。入



らないようにするのかもしれませんが、根本的には減らさないといいけないですね。

議会だよりを読んだことはありますか？

● いつも拝見しています。

● ゆりの里にもいつも届いていますが、大体次の発行までには無くなっています。

やうじい...

ゆりの里は地元で取れた新鮮で美味しい農産物を買うことができているため、商品がどれくらい売れたのか、どんな人が買つてくれたのかがわかりやすいという利点があります。ゆりの里を知らない市民の皆様は、近くには袖ヶ浦公園もあるので、休日は公園で遊んだ後にゆりの里で新鮮な農産物を買つて地域の農業従事者を応援していただきたいと思います。

(座談会担当：笹生・山本)

J A きみくにのしほ

農林振興課

☎ 0438(62)3426

令和8年度は、国の動向や本市の財政状況等を踏まえ、健全財政を維持しながら、本市が目指す将来の姿である「みんなでつくる人つどい 緑かがやく 安心のまち 袖ヶ浦」の実現に向け、新たに策定した総合計画後期基本計画、第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略及び第3期実施計画の取組を着実に展開するための予算として提案されました。議会では、予算審査特別委員会を設置し、3月18日、19日、23日の3日間にわたり各会計の審査を行い、可決しました。

また、令和8年度当初予算の歳入歳出総額は312億8千万円、対前年度10億9千万円(3.6%)の増となり、8年連続の増加で過去最高額となりました。

予算審査特別委員会では、施策分野と照らし必要な予算であるか活発な質疑が行われました。

歳入

市の収入

312億8,000万円

歳入の根幹をなす市税収入は、165億2,643万円(対前年度:11億361万円、7.2%増)で見込み、国庫支出金については、57億5,974万円(対前年度:11.5%増)を、市債については、8億4,270万円(対前年度:38.0%減)で見込んでいます。

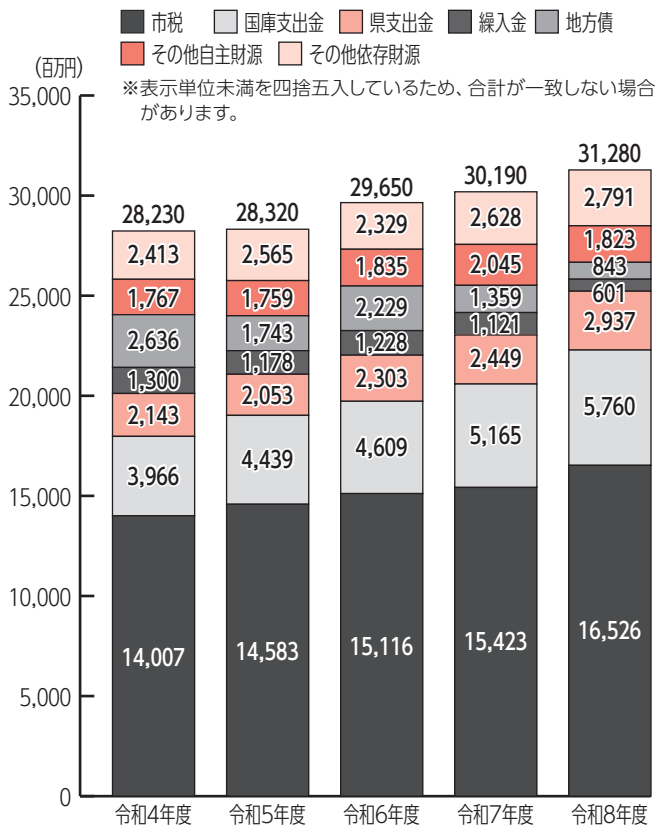
歳出

市の支出

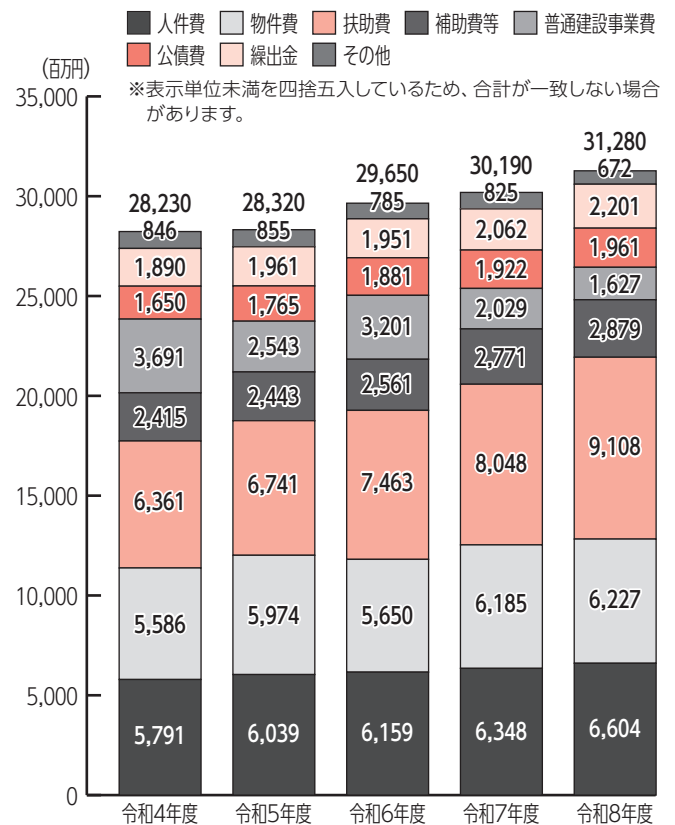
312億8,000万円

歳出予算では、人件費、扶助費、物件費に代表される経常的経費の合計を291億5,989万円(対前年度:5.7%増)で見込み、投資的経費のうち普通建設事業費については、昭和中学校校舎増築事業が完了したことなどにより、16億2,705万円(対前年度:19.8%減)で見込んでいます。

歳入予算の推移



性質別歳出予算の推移



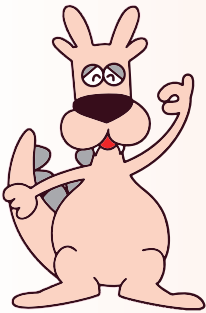
令和8年度予算

総合計画後期基本計画、第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略及び第3期実施計画の取組を展開する予算

可決

賛成討論

賛成！

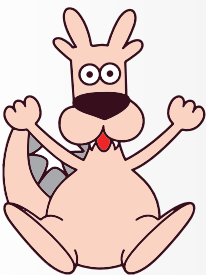


財政硬直化の中、新規事業含めた「攻め」と「守り」に期待

本予算は後期基本計画の初年度として編成され、312億8,000万円と過去最大規模。市税増収など歳入は堅調だが、扶助費増により財政の硬直化が進行している。その中でも、事業の必要性・緊急性を精査しつつ、既存事業の見直しと未来投資を両立している点を評価する。自動運転、乳児支援、消防庁舎、学校体育館空調など市民生活と将来を見据えた施策が盛り込まれている。また、ふるさと納税強化やDX推進など「稼ぐ力」と効率化にも着手している点を評価。今後は扶助費増への対応として、分野や組織を超えた連携による税収確保と、物価高騰の影響を受ける市民に寄り添った予算執行を求め、賛成します。

反対討論

反対！



物価高騰が続くなか市民負担が増やされる予算に反対

令和8年度予算は過去最大規模。一部前進が見られるも、問題点も多い。基幹システムの標準化によりかえって運用コストが大幅に増加。シティプロモーション事業は効果があるか疑問。子ども誰でも通園制度は一時保育との違いが不明。臨海スポーツセンターはコンサル任せにせず、市独自のビジョンを持つべき。広域廃棄物処理はごみ減量化・気候変動対策に逆行している。職員負担の大きいそでがうらまつりは見直すべき。不登校支援の周知方法は改善すべき。職員が疲弊している中、ゆとりを持って働けるためには、会計年度職員の正規職員化などの予算措置が必要。市民税の増加が見られるが、生活保護受給世帯も増え、格差が一層広がっている。負担軽減のための国保の法定外繰り入れが廃止されたまま、さらに下水道の基準外繰り入れの削減も実施されているため反対します。



令和8年度 予算

気になる事業

予算審査特別委員会を3月18日、19日、23日の3日間開催し、令和8年度当初予算の審査を行いました。質疑は抜粋して掲載しています。

財政の硬直化について

Q: 財政が構造的に硬直化してしまっていると認識していますが、要因は。

A: 経常的経費が増加した主要因ですが、人件費、扶助費、公債費から成る義務的経費の増と共同調理事業や保健衛生関係機関負担金等事務費、企業等振興支援事業、後期高齢者療養給付費などに係る費用の増によるものと考えています。

企業版ふるさと納税の状況は

Q: 企業版ふるさと納税の状況について、寄附の実績と収収の向上への取組について伺う。

A: R7年度の寄附状況は、2月末現在で4件で1,070万円となっています。今後の寄附額向上へのさらなる取組としては、お礼状とともに企業

様に次につなげていただけるような文書の発送を行ってまいります。

※企業版ふるさと納税・企業が地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して寄附を行った場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組み。

防犯力の向上と犯罪の未然防止について

Q: 街頭防犯カメラの更新はどのような考え方で進めていくのか伺う。

A: R7年度までは新規の街頭防犯カメラを設置していましたが、現在設置済みの32台につ



街頭防犯カメラ

いて、R8年度からは更新に切り替えていきます。各学校区には平均化して設置ができたという判断です。

地域の防災力強化について

Q: 県からの地域防災力充実強化補助金について、R8年度が3年目となるが、どのように利用するのか伺う。

A: 購入予定の内訳としまして、マンホールトイレ4基、ポータブル発電機2機を購入するものです。



マンホールトイレ

有害鳥獣駆除の現状は

Q: 現状の有害鳥獣の駆除数について伺う。

A: 2月末現在でイノシシ445頭、アライグマ320頭、カラス90羽ほど捕獲しています。

Q: 令和8年度の重点取組について伺う。

A: 猟友会の方たちによる箱などの点検委託など、捕獲従事者が安心して活動できるような形で引き続き支援をしていきたいと考えています。また、有害鳥獣の対策協議会への補助金の支出、イノシシなどの大型獣用のわなの購入、各



地域対策組織の技能向上のための講習会の実施、市内農家への防護柵の設置支援などの取組を予定しています。

公園施設の長寿命化計画の内容は

Q：公園施設長寿命化計画策定委託の委託内容について伺う。

A：まず、対象地の予備調査で都市公園の台帳情報の収集や健全度調査票の作成を行います。次に健全度の調査について、健全度、緊急度判定を行います。その結果を踏まえ、基本方針の策定や長寿命化計画の検討、ライフサイクルコストの算出、計画の作成と報告書の取りまとめになる予定です。



バス路線の維持や利便性の確保について

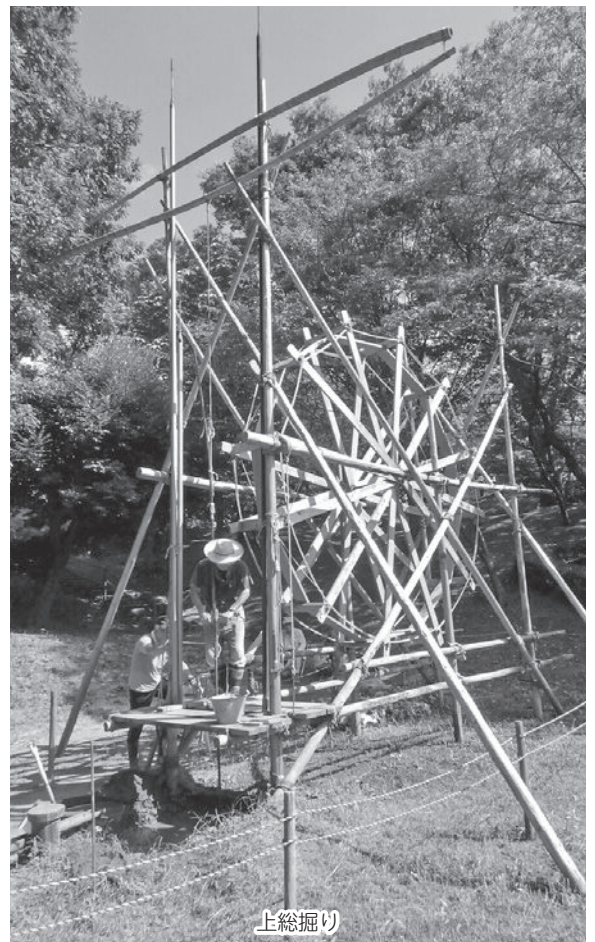
Q：地域公共交通づくりについて、既存バス路線の維持や利便性の確保はどのような考えで進めていくのか伺う。

A：人件費や物価高騰による運行経費の増大、運転手不足など、環境としては厳しい状況にあります。路線全体の利用者につきましては、コロナ禍以降増加している状況です。このため、令和8年度についても引き続き路線維持と利便性確保のための資金的な補助を行うとともに、路線バスの利用促進のため、無料お試し乗車、乗り方教室などの実施、また公共交通マップの作成、運転手確保の支援などの取組を行うっていく予定です。

上総掘りの技術継承支援の取組は

Q：「上総掘りの技術」の事業概要について伺う。

A：国の重要無形文化財に指定されている上総掘りの技術の保存と技術継承を支援するために行う事業で、井戸掘りに伴う



上総掘り

必要な道具の製作費、その他必要経費等を計上しています。

特定健康診査受診率向上について

Q：特定健康診査受診率向上のための新たな施策について伺う。

A：令和8年度から保健センター等で行う集団健診において、引き続き予約制で行い、後期高齢者健康診査と併せて期日を4日から5日に、受診可能人数を600人から750人に増やすことを予定しています。

介護予防への取組は

Q：eスポーツ体験会等を通じた介護予防の普及・啓発の取組

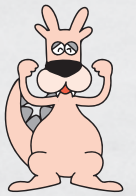
とは。

A：基本的には太鼓を使ったりリズムゲームを考えており、5つの交流センターと連携し、実施を予定しています。

予算審査特別委員会

委員長	笹生 猛	
副委員長	木村 淑子	
委員	山本 浩太郎	鈴木 高人
	高橋 大志	田丸 有輝子
	渡辺 あゆみ	佐藤 博文
	伊東 章良	稲毛 茂徳
	根本 駿輔	励波 久子

令和8年1月臨時会・3月定例会の議決結果



1月臨時会・3月定例会において議案30件、発議案1件が審議されました。賛否が分かれた案件は下記のとおりです。

全会一致で原案可決
等された議案

20件

賛否が分かれた案件 ○=賛成 ●=反対

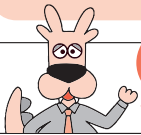
議案等	議決結果	付託委員会	山本浩太郎	鈴木嵩人	小島仁美	高橋大志	田丸有輝子	渡辺あゆみ	佐藤博文	伊東章良	木村淑子	稲毛茂徳	湯浅榮	根本駿輔	山口進	在原直樹	小国勇(議長)	緒方妙子	脇波久子	佐藤麗子	笹生猛	榎本雅司	塚本幸子	篠崎典之	
下水道条例の一部を改正する条例の制定	可決	建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	●
農業集落排水処理施設条例及び農業集落排水処理施設のうち流末を公共下水道へ接続する区域の管理条例の一部を改正する条例の制定	可決	建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	●
民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律に規定する特定事業に係る契約の変更(第2期君津地域広域廃棄物処理事業)	可決	建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	●
令和8年度一般会計予算	可決	予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	●
令和8年度国民健康保険特別会計予算	可決	予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	●
令和8年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	●
令和8年度介護保険特別会計予算	可決	予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	●
令和8年度下水道事業会計予算	可決	予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	●
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	可決	文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	●
令和8年度一般会計補正予算(第1号)	可決	予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	●
令和8年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	●

- 議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わりません。
 - 議案名中の「袖ヶ浦市」及び、「～について」は省略表示してあります。
 - 詳細については袖ヶ浦市ホームページでご確認ください。
- 袖ヶ浦市ホームページ <https://www.city.sodegaura.lg.jp>

議決結果はこちらから



議案ピックアップ



Pick up

小学校の環境整備事業等の予算を可決



工事前の照明器具

補正予算

【昭和小学校照明器具更新工事】
【蔵波小学校照明器具更新工事】

水銀に関する水俣条約に伴い、令和9年末までに蛍光灯の製造等が禁止されることから、小学校2校の照明器具のLED化を実施します。引き続き、学校施設照明のLED化を推進します。



かずさ四市議会議長会 議員研修会

1月16日(金)、一般社団法人 地方公共団体政策支援機構 上席研究員の渡辺太樹先生を講師に迎え、「議会が行うべき政策議論・政策提言とは何か ―データに基づくかずさ四市の現状と課題について―」と題した研修会が開催されました。

講演では、かずさ四市それぞれの現状や課題について、各種データをもとに分かりやすく解説いただくとともに、客観的なデータを活用しながら地域の実情を的確に捉え、抱える課題を政策議論や政策提言へとつなげていくための具体的な視点や手法について学びました。



千葉県南市議会議長会 議員研修会

1月23日(金)、早稲田大学名誉教授の北川正恭先生を講師に迎え、「官民共創で地域課題を解決」と題した研修会が開催されました。講演では、人口減少や高齢化、財政制約が進む中、行政がすべての公共サービスを担う時代は終わりを迎えているとの指摘があり、民間企業やNPO、市民など多様な主体と連携する「官民共創」の重要性が示されました。さらに、これからの議会に求められる役割として、従来の「監視型」から、政策を提案し、制度を設計する「政策立案型議会」への転換や、「組織」として機能する必要性が示され、今後の議会運営の在り方を考える貴重な機会となりました。



環境・災害対策特別委員会所管事務調査

袖ヶ浦バイオマス発電所再稼働後の操業状況と安全対策について

令和5年1月1日(日)に発生した、袖ヶ浦バイオマス発電株式会社の木質ペレット貯蔵サイロ火災について、当該施設が復旧し、再稼働したことを受け、令和7年11月4日(火)に環境・災害対策特別委員会にて所管事務調査を実施しました。

発災当初、A1・B1サイロから白煙が発生したため、窒素封入や散水による鎮静化を行い、発災から約4か月後に鎮火宣言、その後ペレット搬出と設備点検を経て復旧に至りました。木質ペレットの長期保管による自己発熱・蓄熱が今回の発災の原因でしたが、所管事務調査を通じて、PSA

式窒素発生装置の常設化*、保管期間の厳格管理、温度・可燃性ガスの常時監視、循環運転による冷却など、適切な再発防止策が講じられていることを市関係部署とともに確認しました。

再生可能エネルギーの安全かつ持続可能な運用は、袖ヶ浦市を含め、全世界にとって超えなければならない大きな課題です。その為にも、今回の火災を教訓とし、市議会としても、市関係部署を通じて安全対策の徹底を求めてまいります。

*木質ペレットの自己発熱を抑制するために窒素を発生させ、サイロ内の酸素濃度を管理する装置です。





たか はし たい し
高橋 大志

議員

清風会



質問項目

- 市民を見守る取組について
- ふるさと納税を推進する取組について

Q R 7年6月定例会で質問した防犯カメラ付き自動販売機設置の進捗は

A 設置の条件や運用ルールなどの情報を収集しています

市民を見守る取組について

- Q** R 7年の本市の犯罪状況は。
A 刑法犯認知件数は320件で前年比44件減少しています。犯罪の種別ごとの内訳は、凶悪犯の発生はなく、空き巣や自転車盗など窃盗犯が239件と全体の約75%を占めており、詐欺などの知能犯は13件で、うち特殊詐欺は6件発生し、被害額は6,450万円です。また、傷害などの粗暴犯やその他刑法犯などを合わせ68件となっています。
- Q** R 7年度に児童生徒が遭遇した不審者数は。
A R 7年度は2月末時点で34件の報告を受けました。
- Q** 防犯カメラ付き自販機導入を具体的に検討しないか。
A 他自治体における取組状況や設置事例、運用上の課題、期待される効果などについての情報収集を行っている段階です。
- Q** 防犯カメラ付き自販機を導入可能と判断できる点は。
A 地域の安心につながるものであると認識しています。
- Q** 設置の効果が見込まれるエリアは。
A 通学路に面し、地域の防犯状況を考慮し判断します。
- Q** 具体的に設置の結論を出せる時期は。
A 具体的な時期を示すのは難しいです。まずは情報収集、そして内部での調整を図り、その内容を踏まえながら関係課、団体と検討を行います。

ふるさと納税を推進する取組について

- Q** ふるさと納税寄附金額の推移は。
A R 7年度1月末時点における寄附金額は約8,638万円となり約1,423万円上回っています。
- Q** ふるさと納税の専門部署の設置を検討しないか。
A R 8年度からはシティプロモーション推進課において取り組んでいく予定です。

9人が



市政を 問う 一般質問

一般質問とは、皆さんの生活にかかわる大切な内容について、議員が市長などに考えを聞くものです。議員本人がQ&Aを要約し作成した原稿を質問者順に掲載しています。

未掲載の内容も含め、一般質問の様子をホームページで録画配信中ですのでご覧ください。会議録は6月頃に掲載予定です。

各議員のQRコードから一般質問の映像が閲覧できます。会議録は市議会ホームページで閲覧できます。

会議録はこちらから→



袖ヶ浦市議会

検索

「議会のひろば」より

本会議映像のインターネットライブ中継をしています。ご自宅などのパソコン、スマートフォン、タブレット端末などで本会議の映像がリアルタイムでご覧いただけます。ぜひ、ご覧ください。

併せて、議案資料等のホームページでの公開もしています。(録画配信については、会議終了後約1週間で公開します)

傍聴時に音声機器の貸し出しをしていますので、必要な方は議会事務局までお申し付けください。

〒299-0292 袖ヶ浦市坂戸市場1-1

Tel 0438-62-3450

Fax 0438-63-5130

☒ sode32@city.sodegaura.chiba.jp



録画配信はこちらから→



しのざき のりゆき
篠崎 典之

議員

日本共産党 袖ヶ浦市議団



質問項目

- プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律に伴う分別収集導入と住民負担について
- 臨海スポーツセンター等を活かした「まちづくり」について
- 首都圏CCS（二酸化炭素分離・回収・搬送・貯留）事業による袖ヶ浦市民の法的権利と市長の安全確保義務について

Q プラごみ分別収集袋手数料は手間との二重負担 選択肢からはずすべき

A 有料化は未定で 先行自治体の事例も参考に検討します

プラスチック資源分別の指定袋代負担検討やめよ

Q プラスチック分別導入で指定袋有料化は、手間と経済負担の二重負担になる。市民の労力提供を考慮し、無料収集の選択や丁寧な全戸アンケート、説明会などで広く市民の意見集約を行うべきだ。市長の認識を問う。

A プラスチック用指定袋とするか、処理手数料をどうするか、幾らとするかは決定していません。使用済みプラスチックとして出していただく動機づけとして、燃せるごみとプラスチックの処理手数料に差をつけている自治体があることも認識しており、先行事例も参考に検討します。

臨海スポーツセンター等のまちづくり利活用は

Q 収益重視の商業開発ではなく、体育施設などの公的機能を最優先すべきだ。幅広い市民が健全ににぎわう場にするため、市民との意見交換会を開催する考えはないか。

A 体育館機能を維持しつつ、立地エリアの活性化に効果が高い複合的な施設整備を検討中です。今後の調査結果に基づき利活用の基本方針を定めます。

二酸化炭素回収・貯留事業沿線住民の意見表明権

Q CO₂パイプライン沿線住民に環境アセス等意見表明権がないのは不平等だ。欠陥のある法律に対し自治権を行使し、市独自の安全検証や公聴会実施で、住民の法的権利を守るため、市として道路占用を不許可とし、国へ事業中止を求めないか。市長の職責を問う。

A 安全性等は国の法律に基づき国が担保するものと考え、市独自の検証等は行わず、国の動向を注視していきます。道路占用許可は法令に基づき適正に審査するもので、現時点で事業中止を求める考えはありません。



つかもと さちこ
塚本 幸子

議員

無会派の会



質問項目

- 総合計画後期基本計画の策定の考え方、施策、実効性の担保について
- 環境汚染、環境破壊の対応策について
- 市役所等の窓口受付時間の変更について

Q 市役所窓口受付時間短縮、市民サービスの低下では

A 業務改善による行政サービス向上と職場環境改善を目的に実施します

Q 短縮予定時間の来庁者の実態は統計上少ない。実際の時間外勤務への影響は少ないのではないかと。

A 業務が勤務時間内に完結できる環境を整備し、恒常的な時間外勤務の発生を抑えるよう努めていきます。

Q 早番、遅番制をとれば、受付時間は変更しなくても窓口は今のままでよいのではないかと。検討したのか。

A 早番、遅番制は検討していません。

時間外勤務削減の取組効果なし

Q 時間外勤務、昨年は前年対比7%増で効果が出ていない。特に時間外の多い福祉部のセーフティネットとしての役割は重要で窓口短縮による弊害や懸念は。

A 窓口短縮で様々な業務に要する時間が確保できるので、勤務時間は短縮されると期待をしています。周知を徹底し、緊急時の時間外対応などは支障が出ないように対応します。

なぜ、違法建築物を撤去しない事業者に許可を

Q 袖ヶ浦IC近接の不法投棄箇所、さらに再生資源物保管場の都市計画法違反など建築物の現在の状況は。

A 是正指導をしていますが、原状回復されていません。

Q 再生資源物保管場はみなしで許可を出した市にも責任がある。その他の条例違反も見受けられる。更新は5年ごとだが次の更新時はどう対応するのか。

A 不適合の場合、適切に対応します

計画を推進するには行政と市民との総合力が必要

Q 後期基本計画の具体的な施策の目玉は何か。

A 災害等を教訓とした取組、カーボンニュートラルへの取組、地域コミュニティへの支援等を強化します。

Q 市民への後期基本計画と実施計画を含めた説明会を企画し、市民みんなで遂行する機運を醸成しないか。

A 市政情報の積極的な発信に取り組み、出前講座等を活用し、計画の趣旨を説明する場を設けていきます。



すずき しゅうと
鈴木 高人

議員

啓政会



質問項目

- 内陸部と臨海部の均衡ある街づくりについて
- 救急医療体制について

Q 内陸部と臨海部の均衡ある発展について、どのような認識か

A 地域の特性を生かした施策展開をし、全市的な発展を目指します

内陸部と臨海部の均衡ある発展の施策は

Q 内陸部と臨海部の均衡ある発展をどのように定義し、どういった考えた方や指標を持って施策を進めていくのか。

A 総合計画や都市計画マスタープランなどに基づき、内陸部と臨海部の特性を生かした施策を効果的に展開し、市全体の発展につなげていくことが均衡ある発展になると考えています。

Q まちづくりを将来的にどのような姿へ導いていこうと考えているのか、基本的な戦略は。

A 少子高齢化など様々な課題に対応し、基本構想に掲げる市が目指す将来の姿を実現するため、4月からスタートする後期基本計画では、第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略を一体的に策定し、施策を総合的かつ効果的に推進することで持続可能なまちづくりに取り組んでいきます。

持続可能な救急医療体制を構築するには

Q 現状、救急搬送から医療機関受入れまでの流れは円滑に機能しているのか。

A 医療機関等との連携は図られているものと考えており、全国と比較しても、救急医療機関への受入れまでの救急搬送、特に重症傷病者の救急搬送は円滑に機能していると考えています。

Q 本市として君津中央病院を含めた、地域医療体制全体の安定に向けた取組は。

A 地域医療体制全体の安定に向けて、君津中央病院が3次救急医療として専念できる体制が必要不可欠。1次、2次救急で対応できる機能分化の推進に向けて、関係機関への協力を働きかけ、急性期治療を終えた方がスムーズに在宅へ移行できる体制を作っていきます。



と な み ひ さ こ
励波 久子

議員

日本共産党 袖ヶ浦市議団



質問項目

- 子どもの権利条約に基づく教育環境の推進
- 部活動の地域移行について
- 学校給食について

Q 部活動の地域移行は子どもの意見の尊重と反映を

A 子どもの意見の尊重は重要であり R 8年度も意向調査を実施します

地域移行の現状と課題 子どもを真ん中に考えて

Q R 8年度から休日活動の8クラブが紹介されているが、試行がされた剣道や卓球、バレーボールが含まれていない。どのような課題があるのか。

A 指導者の確保が困難で活動を終了しました。

Q クラブで差が出ないように保護者負担を抑え、経済的負担の大きい家庭には就学援助制度適用の検討を。

A 国の方針や他市の動向を注視し、調査研究しています。

全ての子どもに「子どもの権利条約」を

Q 大阪市立田島南小中一貫校で、子どもの権利条約を学校の授業で学び、自己肯定感を高め自分と相手を大切にする方法を学ぶことを目指した取組が高く評価されている。袖ヶ浦でもこの取組を学ばないか。

A 子どもの権利条約は、全ての子どもが一人の人間として尊重され、健やかに成長するための権利を保障する国際的な基準であり、教育においても重要な理念と認識しています。今後も様々な事例を参考に児童生徒の人権意識の向上に努めます。

Q 小中学校での不登校児童生徒数、いじめの認知件数、暴力行為の発生件数の現状は。

A R 6年度不登校は、小学校で99名全体の2.62% 中学校で93名5.68%。いじめは、小学校で103件、中学校で34件、暴力行為は、小学校で14件、中学校も14件となっています。

中学校でも給食無償化を

Q 中学校でも市独自の無償化を実施しないか。

A これまでも保護者の経済的負担を軽減しており無償化は考えていません。

Q 小学校給食が無償となり、給食を食べられない弁当持参の児童や不登校児童の家庭へ配慮を検討すべき。

A 国の通知が来てから検討したいと考えます。



いなげしげのり
稲毛 茂徳

議員

清風会



質問項目

- 令和8年度版「そでがうらシティプロモーション戦略基本方針」の今後の展開について

Q R8年4月新設の「シティプロモーション推進課」の庁内での役割は

A 市の魅力を効果的に情報発信する総括部署として全庁的な広報活動展開

情報発信の牽引役としての主体的な役割は

- Q** 各事業の広報戦略や広報媒体に応じた表現方法の助言など全庁的広報活動のサポートとは。
- A** 各部署との情報連携を通じ、市全体の魅力を多角的に、SNSや各種メディアを活用し効果的な情報発信を行い、シティプロモーションを牽引します。
- Q** ふるさと納税の所管をシティプロモーション推進課とした理由は。
- A** ふるさと納税の返礼品活用で、特産品PRや体験型返礼品による観光客誘致など、財源確保と市のプロモーションを一体的に推進するため所管としました。
- Q** シティプロモーション戦略基本方針では、「ふるさと納税寄付実績」の目標を6倍以上としているが。
- A** R13年度の目標値設定の根拠は、R6年度のふるさと納税の本市への寄付額と市民が他市へふるさと納税したための市民税控除額や返礼品などの事業費を参考に、収支を均衡させるため必要な額を設定しました。

将来的な生産年齢人口確保への取組みは

- Q** 持続可能な袖ヶ浦市の構築には、人口の二極化の改善に向けたプロモーション展開が必要では。
- A** 第3期総合戦略では人を惹きつける活気あるまち袖ヶ浦を掲げ、豊かな自然や観光資源を活かし、地域活性化と魅力向上を図り、転入促進と転出抑制を目指し、効果的なシティプロモーションにより、遊ぶ・買う・働く・住むまちに選ばれるよう取り組んでいきます。
- Q** シティプロモーション戦略での「認知度調査」はターゲット層を都心部へ移すべきでは。
- A** 調査対象は、前期のシティプロモーション戦略基本方針との整合を図った。今後は実態に即した効果測定となるよう見直しを検討します。



おがたたえこ
緒方 妙子

議員

公明党



質問項目

- 令和8年度施政方針について

Q 独自の財源を確保・創出する取組への考えについて伺う

A 特定財源の活用その他、積極的に財源確保に取り組んでいます

R8年度施政方針について

- Q** 後期基本計画実現のための「組織・分野・世代・創造の4つの超える」により縦割り行政が連携、協働等の更なる取組が可能となるが、その成果について伺う。
- A** 多様・分野を超えた連携や多世代交流の促進、自由な発想とデジタル活用などにより、市民が主体的に関わる地域社会の実現、行政サービス向上、持続可能な市政運営など4つの「超える」を常に意識し、効果的に組合すことで急速な変化が続く社会環境に迅速かつ的確に対応し、次世代へ繋がるまちづくりを目指します。
- Q** 「超える」により部署ごとの行政が効率化し、課題共有も可能となるが職員の意識改革の取組について伺う。
- A** 既に取組は始めていますが、事業検討において分野横断的視点を持つよう周知、また各部署は事業がどのように関係するか確認、検討作業を行い、常に「超える」を意識しながら立案、実行に取り組んでいます。
- Q** 自ら財源を確保、創出する取組への考え方は。
- A** 特定財源の活用、ふるさと納税推進、市有財産の有効活用、広告収入及びネーミングライツ事業を実施し、今後も財源確保の取組を積極的に進めます。
- Q** 広告収入やスポンサー協力を増やす取組について伺う。
- A** 企業、団体等とコミュニケーションを図り、広告媒体の開拓や協力依頼等に積極的に取り組んでいます。
- Q** 「自ら稼ぐ」税収増への取組として企業誘致、企業活動の活性化への取組について伺う。
- A** 本市では企業の新規立地や設備投資に奨励措置を講じるとともにカーボンニュートラルの実現に向けた取組みや成長分野への投資促進に加え、工場用地有効活用についても促進し、産業振興を図っています。



ねもと しゅんすけ
根本 駿輔

議員

清風会



質問項目

- 公共施設マネジメントについて

Q 公共施設について、不具合発生後だけではなく計画的な修繕は

A 長寿命化計画をもとに、計画的に修繕を行っています

効率的な公共施設の維持管理に向けて

Q 老朽化する公共施設も多く抱える中、今後の公共施設マネジメントの方針は。

A H28年に公共施設等総合管理計画を策定し取組を進めており、公共施設等の保有総量の適正化、予防保全型の適切な維持管理、効果的・効率的な施設の管理及び運営の3つを基本原則として、さらに個別施設計画を策定しています。現在はこれらの計画に基づき予防保全の改修や長寿命化を図るなどしています。

Q 4月から担当課（資産管理課）の名称が「公共施設マネジメント課」となるが、業務内容の変化は。

A 他部署から普通財産の一部を移管することで、処分その他の利活用を事務分掌に追加し、資産の有効活用を一体的に図ります。また、点検の基準を整備して各施設担当者が実施する点検内容の統一化を図ります。

Q 各施設の劣化状況を継続的に把握する仕組みはあるか。

A 法定点検のほか、各施設担当者が日常点検や定期点検を行っています。今年度については専門性のある職員において全小中学校の点検を実施したところであり、その他の施設もローテーションで点検していきます。

Q 2027年（R9年）の蛍光灯生産停止対策は。

A R12年度までにLED化率100%を目指します。

Q 昨今の物価上昇を踏まえると、リースなど単純な工事発注以外の方法も踏まえつつできるだけ早期にLED化工事を実施した方がメリットがある可能性があるが、どのような手法を検討しているか。

A 工事手法については、施設の照明の数や費用対効果、国の補助の有無などを踏まえて判断する予定です。



こじま ひとみ
小島 仁美

議員

新袖の友



質問項目

- 令和8年度の施政方針に示された後期基本計画の施策体系のうち、「地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまちづくり」について

Q 昼食販売を庁舎活用に繋げ、市民にとって最善の形に整えないか

A 市役所の用途に支障のない範囲での許可であり見直しは考えていません

庁舎内昼食販売における市民への周知

Q 昼食販売の案内を職員への通知のみでは市民の利用機会を損なっているのでは。事業者が自力で創意工夫し、市民に周知できる環境を整えるべきではないか。

A 地下販売は職員の福利厚生の一環のため案内は制限しているが、地下販売、キッチンカーとともに1階ロビー等への案内掲示を前向きに検討します。

Q 管理側と現場に大きな隔たりがある。地下への移動で売上が激減し撤退を余儀なくされる事業者の声は切実だ。課題を整理した上で、通行の妨げにならない南庁舎1階への場所変更を検討できないか。

A 売上減少は地下への移動以外も考えられる。販売時に多くの職員が並び、来庁者の往来に支障を来すことが想定されるなど管理・運営上の課題があるため、現時点では指定場所以外での許可は難しいです。

地下の通信環境について

Q 地下は電波状況が悪くキャッシュレス決済に支障が出ている。市が場所を指定する以上、最低限の通信インフラ整備は責務と考える。早急に地下の通信環境を改善する考えはあるか。

A 中庁舎地下はバックヤード的な利用スペースで、電波状況が非常に悪い。今後職員が連絡を行うための通信インフラの整備について、調査研究していきます。

Q 他自治体のように販売ルールを明確化し、利便性を高めるべきだ。事務に支障のない運用ガイドラインを定め、オープンな庁舎活用へ踏み出す考えはないか。

A 販売希望者の増加等、状況の変化に合わせて許可基準となるガイドライン作成の必要性を注視していきます。

ようこそ袖ヶ浦市議会へ

袖ヶ浦市議会では、他市議会から視察の受け入れを行っています。令和7年度は、以下の市議会が視察に訪れました。

令和7年度視察受入実績



市原市議会 地域交通に関する調査特別委員会
【健康増進のための乗合送迎サービス「チョイソコがうら」について】



木更津市議会 交通政策特別委員会
【デマンド型乗合送迎サービス「チョイソコがうら」について】



加西市議会 建設経済厚生常任委員会
【再生資源物の屋外保管に関する条例について】



登米市議会 総務企画常任委員会
【公共施設再配置方針及び公有財産利活用方針について】

市内小学生が議場を見学に来ました

市内小学校の3年生が市役所見学の際、議場に学習しに来ました。当日は議員席などに座り、元気よく手をあげて袖ヶ浦市に関する様々な質問をしたり、採決の様子を体験するなど楽しみながら学んできました。



中川小学校



奈良輪小学校



平岡小学校



蔵波小学校

袖ヶ浦のさんぽ道 ガウラのまち

休日に行きたい！
いちおしスポット

「ねえ、見て！ こっちに来たよ！」
動物たちのぬくもりに触れる、家族の休日。

まばゆい新緑の間から、初夏の陽光が降り注ぐ季節となりました。

今回訪れた「袖ヶ浦ふれあいどうぶつ縁」は、動物たちと“目線の高さ”で触れ合える特別な場所です。

カピバラやヒツジたちの穏やかな姿、そして手のひらから伝わる温もりには、子どもたちの瞳を輝かせ、大人を笑顔にする力があります。

開放感あふれる縁内で、小さな手と手を取り合いながら歩けば、いつもの休日がかけがえない宝物に。

五感をいっぱいを使って、この季節ならではの「命の輝き」を体験しに、ご家族で出かけてみませんか。



袖ヶ浦ふれあいどうぶつ縁

住所：千葉県袖ヶ浦市上泉1506-10 TEL：0438-60-4100
入場料：●おとな(中学生以上) 1,200円 ●子ども(3歳以上) 600円
●0~2歳児・ワンちゃん 無料



アンケートにご協力ください

あなたの声がかこれからの議会だよりを育てます。ぜひ「もっとこうしてほしい」をお聞かせください！率直な感想をお待ちしています。



アンケートフォームはこちらから



6月定例会

日	月	火	水	木	金	土
5/31	6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6
	一般質問受付	議会運営委員会				
6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13
		本会議 10:00~				
6/14	6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20
		本会議（一般質問） 9:30~	本会議（一般質問） 9:30~	本会議（一般質問） 9:30~	本会議 （一般質問予備日）	
6/21	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27
	総務企画 常任委員会	文教福祉 常任委員会	建設経済 常任委員会		本会議 10:00~	
6/28	6/29	6/30				

* 請願・陳情の受付は5月29日までです。

* 6月定例会の予定は、6月2日に開催される議会運営委員会で正式決定されます。

* 一般質問通告一覧表は6月9日頃、ホームページに掲載する予定です。

議会だより  そでがうら

議会のひろば

No.206 発行日：令和8年5月1日

発行：袖ヶ浦市議会 編集：議会広報特別委員会
〒299-0292 袖ヶ浦市坂戸市場1-1
Tel 0438-62-3450(直通)



袖ヶ浦市議会
袖ヶ浦市公式ホームページ



「議会のひろば」は、環境にやさしい植物油インキおよび環境に配慮した用紙を使用しています。



見やすく、読み間違えにくい、ユニバーサルデザインフォントを採用しています。